## 20\_\_\_年度 購買コストダウンデータ作成 実施確認ならびに完了報告書

作業項目	確認項目	作業日	作業者印
1	Seitk-SV2にリモートログインして作業を行う。 ダンプファイルコピー元 (svtkx017¥ObicDataBackup¥dmpディレクトリ内の「takex.dmp」) ダンプファイルを配置するディレクトリ「Seitk-SV2¥D:¥oracle11g」		
「ハックァッフ機(Settk-SVZ)に ダンプファイルを配置	ダンプファイル作成日時 年 月 日 時 分 秒		
	年 月 日の業務終了後のデータである事を確認。 「Seitk-SV2¥D:¥takex¥db」フォルダ内の「PARA_takex.txt」の確認		
	(dmpファイルの場所がD:¥oracle11g¥takex.dmpとなっている事を確認する)		
	■ PARA_takex - メモ帳 ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)  FILE=D: ¥oracle11g¥takex.DMP		
②PARA_takex.txt の確認	COMMIT=Y SHOW=N IGNORE=Y		
	GRANTS=Y ROWS=Y - FROMUSER=takex		
	TOUSER=takex		
	「Seitk-SV2¥D:¥takex¥db」フォルダ内の「imp_takex.bat」の確認		
	(1行目のoracleのsqlldr.exeの場所と4行目のパラメータファイルの場所調整) ※ 2行目は絶対に変更、削除しないように注意する		
	imp_takex - メモ帳		
③ imp_takex.batの確認	set NLS_LANG=Japanese_Japan.JA16SJIS pause		
	date /t   time /t   IMP.EXE takex/takex PARFILE=d:\takex\takex\takex\takex.TXT LOG=d:\takex\takex\takex\takex.log		
	date /t time /t pause		
	I.SQLPlusを起動し、ユーザー名入力時にSYSTEM/OBIC@SEISANDBと入力してログインする。		
	2「drop user takex cascade;」カッコ内をコピーして 3.「@D:¥takex¥db¥crt_user.sql」実行		
	■SQL Plus  SQL*Plus: Release 11.2.0.3.0 Production on 木 10月 24 17:33:57 2013		
	Copyright (c) 1982, 2011, Oracle. All rights reserved.		
	ユーザー名を入力してください: SYSTEM/OBIC@SEISANDB		
	Oracle Database 11g Enterprise Edition Release 11.2.0.3.0 - 64bit Production		
  ④ ユーザーの再作成	With the Partitioning, OLAP, Data Mining and Real Application Testing options に接続されました。 SQL> drop user takex cascade;		
	ユーザーが削除されました。		
	SQL> @D:\takex\db\crt_user.sql		
	ユーザーが作成されました。		
	権限付与が成功しました。		
	権限付与が成功しました。		
	SQL> _		
	ウイルスバスターを停止する 1.デスクトップタスクバーのアイコンを右クリック		
⑤ウイルスバスターを停止する	2.ウイルスバスターCorpのアンロードをクリック 3.パスワード入力用ダイアログボックスに「takex8419」を入力)		
	「Seitk-SV2¥D:¥takex¥db」フォルダ内の「imp_takex.bat」を右クリック <b>⇒管理者として実行する</b> pauseが仕込んであるので、enterで進める		
	C:\forall \text{Windows\forall System32\forall cmd.exe} \tag{C:\forall \text{Windows\forall system32\forall time } /t}		
	18:08  C:\text{Windows}\system32>IMP.EXE takex/takex PARFILE=d:\takex\db\takex.TXT LOG=d		
	:\takex\db\imp_takex.log		
	Import: Release 11.2.0.3.0 - Production on 木 10月 24 18:08:19 2013  Copyright (c) 1982, 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.		
⑥impバッチの実行	接続先: Oracle Database 11g Enterprise Edition Release 11.2.0.3.0 - 64bit Produc		
	tion With the Partitioning, OLAP, Data Mining and Real Application Testing options		
	エクスボート・ファイルはEXPORT:V11.02.00によって従来型バス経由で作成されました JAIGSJISキャラクタ・セットおよびAL16UTF16 NCHARキャラクタ・セットでインボートを		
	実行します インボート・サーバーではJA16SJISTILDEキャラクタ・セットを使用します(キャラクタ・ セットの変換可能)。		
	エクスポート・クライアントではJA16SJISTILDEキャラクタ・セットを使用します(キャラクタ・セットの変換可能)。 表 "BK_EUC_TM_ST_KAKUSIN_INFO"をインボートしています 34561行インボー		
	トされました。 表 "BK_TF_SHIYOU_ITEM_RIREKI"をインポートしています <b>』</b> ▼		
	ウイルスバスターを起動する スタートボタン⇒プログラム一覧⇒ウイルスバスターCorpクライアント		
⑦ウイルスバスターを起動する			
L	<u> </u>	<u> </u>	!

## 20\_\_\_年度 購買コストダウンデータ作成 実施確認ならびに完了報告書

作業項目	確認項目	作業日	作業者印
⑧Obicをバックアップ系に接続	1.C:¥OBIC7SEI_PKGV2¥OBIC7SEI.iniを編集して、接続左記をバックアップ系に変更する。   [ENVIRONMENT]   DBUSER=TAKEX   DBPASWRD=TAKEX		
	DBNAME=SEITK-SV2 2.Obicを起動し、メインメニュー上に「Seitk-Sv2」が表示されている事を確認。		
⑧次年度生産計画データ Obic取込み	OBIC生産計画・所要量計算メニューの「生産計画取込み処理」を使用して生産管理部門より受領した次年度年間生産.csvファイルを取り込む。		
	Track or Section 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		
<ul><li>②次年度生産計画データ</li><li>登録確認</li></ul>	OBIC生産計画・所要量計算メニューの「生産計画入力」を使用して 生産管理部門より受領した次年度年間生産が登録されている事を確認する。		
	\$ 116-57 - 4 # 15-77-7 July :		
	OBICその他処理メニューの「構成レベルセット処理」で所要量計算処理実行の前準備を行う。		
⑩構成データメンテナンス	maligne > 10 - Langet or mark.		
	To the Comment of the		
	OBIC生産計画・所要量計算メニューの「所要量計算(+実引取)」を使用してMRP処理を行う。		
⑪所要量計算処理	「安全在庫+MRP+実引取データ+調達まとめ版]    「Wass   Wass   「Wass   Wass   「Wass   Wass   「Wass   Wass   Wass   Wass   「Wass   Wass		
	近日-97   本事パックアップ開発   TextBox = 14日   9000		
⑫MRP結果確認	1.OBIC手配指図管理メニューの「ガントチャート」を使用して 次年度年間生産が登録されている事を確認する。 品番 製造納期 数量 確認 2.OBIC在庫管理メニューの「予定在庫照会(MRP連動版)」を使用して 次年度年間生産が登録されている事を確認する。		
	<u>品番 製造納期 数量 確認</u>   1.ETSR0250_コストダウンデータ作成ツール(Seitk−SV2).xls を使用して		
⑬コストダウンデータ 作成ツール	コストダウンデータを抽出する。 (単価取得基準日と中止基準日に①の業務終了日時点をセット) <u>品番 製造納期 数量 確認</u> 2.抽出結果を他のエクセルファイルにコピーして形を整えてメール送信する。		
 上記の手順で購買=	 コストダウン用データを作成しました。 システム管理 部門長(承認)	生産管理(確認)	作成

システム管理 部門長(承認)	生産管理 (確認)	作成